



CONTENTS

CORPORATE FACE TIME

TOP MESSAGE

PERFORMANCE

MANAGEMENT

CEOメッセージ



西川 廣人

日産自動車株式会社 社長兼最高経営責任者 (CEO)

日産は、<人々の生活を豊かに>というVISIONの下、独自性にあふれ、革新的なクルマやサービスをお届けし、皆様にその価値を認めて頂くことを我々の使命としております。

様々な技術革新が進み、クルマを取り巻く環境が大きく変化する中、日産は、クルマの設計開発から生産、販売、サービスに至るあらゆる分野で、積極的に変革に取り組んでおり、さらに加速をしております。

<すべては一人ひとりの意欲から始まる>という言葉は、私たち日産社員の取り組みを体現する言葉です。

どんな企業でも、それを構成する社員のエネルギー、モチベーション無くしては前進することできないと確信しているからであり、日産はこれからも、社員一人ひとりの意欲を活かして、お客さまの望まれる価値を求め、実現し、ご提供してまいります。

日本の、そして世界中の社員が、アライアンスのパートナーであるルノーと、新たにパートナーとして加わった三菱自動車と共に、日々それらの実現に向けて努力を重ねております。

日産は、長い歴史を持つ日本企業であるとともに、一段と進化した多様性を併せ持つグローバル企業であります。今後の自動車産業の更なる進化をリードするに十分な技術の蓄積、強固な財務基盤、世界に展開された事業ネットワーク、そして何よりも、日本そして世界各地の優秀で士気の高い人材を有しております。

これまでの皆様からの温かいご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

2016年度の進展

2016年度、当社は不利な為替を始めとした厳しい事業環境の中、着実に生産及び販売を拡大するとともに、事業運営効率の改善を進め、しっかりとした収益性を確保しました。

当社は、2016年度もグローバルで積極的な新車攻勢を展開し、販売台数は過去最高の562万6千台となりました。特に下期は前年比で7.3%の増の300万台以上を販売し、着実な成長を遂げることができました。

また当社のブランド戦略のコアである「ニッサン インテリジェント モビリティ」のステップとして、順次新技術をお届けしました。

自動運転の領域では、新型「セレナ」にミニバンクラスで世界初となる「プロパイロット」を搭載、また電動化の領域では、「ノート」に初のe-POWERを搭載し、新たな電動車の提案として好評を頂きました。加えて、コネクテッド&ニュー・モビリティ・サービスの領域では、無人運転車の開発、運用の実証実験の準備を新たなパートナーと共同で開始し、将来に向けて着実に前進しました。



CONTENTS

CORPORATE FACE TIME

TOP MESSAGE

PERFORMANCE

MANAGEMENT

2016年度は、アライアンスも大きく進展しました。10月に三菱自動車をルノー・日産のアライアンスの第三のパートナーとして迎え、3社を合わせたアライアンス規模は世界トップレベルの約1,000万台の規模となります。

この他、「ニッサン インテリジェント モビリティ」の戦略を進めるために、従来の自動車業界の枠を超えた新しいパートナーシップの構築も積極的に進めました。

当社は、6年間の中期経営計画「日産パワー88」のもと、販売台数、生産能力及び売上高において大きな成長を遂げるとともに、事業運営効率を向上させ、収益性を高めることができました。これは、今後の中期の事業展開において、大きな基礎になったと評価しています。

2017年度の取り組み

2017年度は、「日産パワー88」を通じて築かれた、しっかりとした事業の基礎をベースに、次のステップの成長へ向けて進み始める年となります。

- 着実な成長
- 新技術、新商品による「ニッサン インテリジェント モビリティ」のさらなる推進
- それらを実現するためにアライアンスのベネフィットをフルに活用

この大きく3つのテーマに取り組んでまいります。

2017年度のグローバル販売台数は、着実な成長という方針のもと、583万台を見込んでいます。中国と、回復が見込まれる日本を中心に、全地域で販売を伸ばします。

さらに、技術の日産というDNAを大きなバックとし、「ニッサン インテリジェント モビリティ」を着実に発展させ、将来へ向けた日産像を作り上げてまいります。「プロパイロット」や「e-POWER」といった新技術の商品化をグローバルに進めるとともに、新型「リーフ」を、国内を皮切りに北米、欧州に順次投入し、「ニッサン インテリジェント モビリティ」をさらに強化してまいります。

当社は自動車業界において起きつつある大きな技術革新と、それに伴う市場環境や、お客さまの自動車の利用形態等の変化をチャンスと捉え、アライアンスの力を最大限に活用し、技術及び事業展開の両面で進化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

西川 廣人

日産自動車株式会社
社長兼最高経営責任者 (CEO)